

近畿大学東洋医学研究所活動報告

所長	久保道徳
教授	新谷卓弘
講師	田原英一
	森山健三
実験助手	中尾紀久世
医療技術員 技術主任	月岡康行
薬剤師	曾和智子
	久斗章弘

◇概要

1. KAMPO EYES シンポジウムについて

(平成 14 年を振り返って)

昨年 5 月に当研究所が母体になり KAMPO EYES シンポジウムを立ち上げました。この会の趣旨は「医学と薬学の有機的な連携を基本として、歴史上の事実は正しく、新しい情報は早く、かつ分かりやすく、明日からの臨床に役立つ幅広い内容を提供する」ことにあります。シンポジウム(総会)は年 1 回、薬局部会は年 4 回、実地臨床分科会は年 1 回、シンポジウムの機関誌を年 6 回発行し、現在会員数が 300 名を超えるに至りました。

2003 年 2 月 15 日には「痛みと漢方」をテーマとした第 2 回 KAMPO EYES シンポジウムを開催いたしました。基調講演は近畿大学薬学部の川畑篤史助教授による「痛みの情報伝達メカニズムに関する最近の研究動向」を、招待講演は韓国の曹基湖教授に「韓医学からみた痛み」について、「ペインクリニックの最近の治療」について近畿大学医学部麻酔科の森本昌宏講師にお願いいたしました。一般講演では久保所長により、「中国歴代の医書・本草書の考証」を行い、痛みについての漢方理論を解説、また「心の痛みと漢方」について新谷教授が、「気血水の失調と痛み」についての症例報告を田原講師が分担しました。

2. 東洋医学研究所附属診療所臨床部門の活動状況について

外来診療は月曜日から金曜日までの午前中に医師 2 名で連日実施し、第一と第三土曜日にも、医師 1 名の外来を実施しています。不況のあおり等で、自費診療が敬遠されるのか、外来受診患者が伸びない(一日平均外来患者は 15 名)ため平成 15 年春より保険診療の導入も検討していることを付記させていただきます。

3. 東洋医学研究所附属診療所・調剤室の活動状

況について

現在、薬剤師 4 名、調剤補助員 1 名のスタッフで業務を行っています。調剤室の面積は 113 平方メートルあり、それぞれ受付・書記、製剤品棚を配した部屋および生薬煎剤調剤室、生薬粉末調剤室、製剤・煎剤調製室、生薬・製品倉庫、生薬標本・資料室、生薬・製品試験室にわかれています。

現在の採用生薬および製品は刻み生薬(143 品目)、生薬粉末(3 品目)、エキス製剤(3 品目)、散剤(4 品目)、丸剤(8 品目)、軟膏剤(1 品目)です。また、現在採用している煎剤は 135 品目です。次に剤形からみた使用内訳では、煎剤(93.4%)、丸・錠剤(5.4%)、外用剤(0.9%)、エキス剤(0.1%)となっています。また、採用処方数は 300 あります。

主な業務は薬品管理業務としては生薬(刻み、粉末)および製剤品の品質検査、発注、検収、在庫管理などです。薬価計算業務では各処方および加味生薬の薬価の算出を行っています。調剤業務には外来と入院があります。製剤業務では主に煎剤、散剤、軟膏剤などの予製剤を調製しています。漢方薬情報収集業務では、生薬薬理文献の収集および解析、漢方方剤治験報告の収集および解析、原本から処方中の配合生薬および分量の確認などを行っています。試験・研究業務では、漢方方剤エキス化の研究、外来漢方調剤システムの研究、入院用漢方調剤システムの研究、古典からみた処方の正しい運用についての試験研究などを行っています。平成 7 年 10 月から薬学部修士課程の 6 ヶ月病院実習の受け入れも始めました。

以上のごとく、近畿大学東洋医学研究所では、このように漢方を中心として新しい天然資源を活用した治療法を皆様に提供する研究所です。新企画でスタートしましたので、今後の研究成果を期待してください。

◇原 著

- 1) Y. Dai, WC. Ye, ZT. Wang, H. Matsuda, M Kubo and PP. But : Antipruritic and antinociceptive effects of *Chenopodium album* L. in mice, *J Ethnopharmacol.*, 81, 245~250, 2002
- 2) H. Matsuda, N. Sato, M Tokunaga, S. Naruto and M Kubo : Bioactive constituent of *Notopterygi Rhizoma*, falcariindiol having antibacterial activity against

Staphylococcus aureus isolated from patients with atopic dermatitis, *Natural Medicines*, 56, 113~116, 2002

- 3) Y. Dai, P. P. But, Y. Chan, H. Matsuda and M Kubo: Antipruritic and Anti-inflammatory Effects of aqueous extract from Si-Wu-Tang, *Biol. Pharm Bull.*, 25, 1175~1178, 2002
- 4) H. Matsuda, N. Tomohiro, Y. Ido and M Kubo: Antiallergic Effects of *Cnidium monnieri* Fructus (Dried Fruits of *Cnidium monnieri*) and Its Major Component, *Osthol. Biol. Pharm Bull.*, 25, 809~812, 2002
- 5) H. Matsuda, Y. Ido, A. Hirata, Y. Ino, S. Naruto, T. Amamiya and M Kubo: Antipruritic Effect of *Cnidium monnieri* Fructus (Fruits of *Cnidium monnieri* CUSSON), *Biol. Pharm Bull.*, 25, 260~263, 2002
- 6) 新谷卓弘: 気逆による安静時の動悸と芍薬去方の効果について, *日本東洋医学雑誌*, 53(3), 223~228, 2002
- 7) 新谷卓弘: 同一患者における・血病態の経時的変化と自律神経活動の変化との関連性, *Journal of Traditional Medicine*, 19(3), 81~86, 2002
- 8) 鈴木英鷹, 本多義治, 森山健三, 本多秀治, 高内茂: 七山淨見寺爽神堂および七山病院の歴史, *精神医学史研究*, 6(1), 61~70, 2002
- 9) 柴原直利, 後藤博三, 喜多敏明, 川俣博嗣, 田原英一, 関矢信康, 酒井伸也, 寺澤捷年: 麻黄連軀赤小豆湯加減が有効であった皮膚疾患の3例, *日本東洋医学雑誌*, 53(6), 663~668, 2002

◇症例報告

- 1) T. Shintani: Effect of Keishi-bukuryo-gan on asymptomatic cerebral infarction for short term, *Journal of Traditional Medicine*, 19(2), 46~50, 2002
- 2) 田原英一: 療養型病床群において釣藤散投与を契機に経管栄養状態から経口摂取が可能となった高齢者の3例, *日本東洋医学雑誌*, 53(1・2), 63~69, 2002
- 3) 田原英一: 酸棗仁湯が有効であった奇声を主徴とする夜間せん妄の2症例, *日本東洋医学雑誌*, 53(4), 61~66, 2002
- 4) 新谷卓弘: 皮膚硬化に対し桂枝茯苓丸が有効であった全身性エリテマトーデスを合併した強皮症の1例, *KAMPO EYES*, (1), 8~9, 2002
- 5) 田原英一: 大黃甘遂湯が奏効したバセドウ病

を伴う変形性膝関節症の1例, *KAMPO EYES*, (1), 10~11, 2002

- 6) 新谷卓弘: 眠れない程の夜間の膝関節痛に大烏頭煎の併用が有効であった関節リウマチの1例, *KAMPO EYES*, (2), 6~7, 2002
- 7) 田原英一: 抵当湯が奏効した慢性疼痛の1例, *KAMPO EYES*, (2), 8~9, 2002
- 8) 新谷卓弘: 桂枝麻黄各半湯加石膏が奏功した汎発性膿疱性乾癬の1例, *KAMPO EYES*, (3), 6~7, 2002
- 9) 田原英一: 防己黄耆湯と黄耆末が奏効した褥瘡の1例, *KAMPO EYES*, (3), 8~9, 2002
- 10) 新谷卓弘: 葛根加苓朮附湯のみで軽快したりウマチ性多発筋痛症の1例, *KAMPO EYES*, (4), 6~7, 2002
- 11) 田原英一: 酸棗仁湯が有効であった奇声を主徴とする夜間せん妄の1例, *KAMPO EYES*, (4), 8~9, 2002

◇総説・資料など

- 1) 新谷卓弘: 和漢薬診療の実際, 福岡医師漢方研究会会報, 23(7), 1~11, 2002
- 2) 新谷卓弘: 内科における桂枝茯苓丸の応用, 漢方と最新治療, 11(3), 253~256, 2002
- 3) 久保道德: 伝承薬物解説 トング王国の薬草 (1) コショウとその仲間, *KAMPO EYES*, (1), 6~7, 2002
- 4) 森山健三: 処方解説”葛根湯”, *KAMPO EYES*, (1), 2~3, 2002
- 5) 久保道德: 生薬治療の新しい試み 五加皮(中国産香加皮)の抗ヘルペス作用と外用効果, *KAMPO EYES*, (2), 16, 2002
- 6) 森山健三: 処方解説”小建中湯”, *KAMPO EYES*, (2), 12, 2002
- 7) 中尾紀久世: 最新! 中国・中医学・中薬学情報 (1) 変形性膝関節症, *KAMPO EYES*, (2), 13, 2002
- 8) 久保道德: 生薬治療の新しい試み 神経性皮膚炎に「斑」の外用, *KAMPO EYES*, (11), 10, 2002
- 9) 森山健三: 処方解説”芍薬甘草湯”, *KAMPO EYES*, (3), 10, 2002
- 10) 中尾紀久世: 最新! 中国・中医学・中薬学情報 (2) 神経衰弱・神経不安症, *KAMPO EYES*, (3), 14~15, 2002
- 11) 久保道德: 生薬治療の新しい試み ヨーロッパ生薬「ウワウルシ」のアレルギー治療作用, *KAMPO EYES*, (4), 15, 2002
- 12) 森山健三: 処方解説”三黄瀉心湯”, *KAMPO EYES*, (4), 14, 2002

- 13) 中尾紀久世：最新！中国・中医学・中薬学情報(3) 烏梅の新しい利用法, **KAMPO EYES**, (4), 16, 2002
- 14) 森山健三：続欧米のハーブ（第1回）, 大阪府薬雑誌, 53(8), 92, 2002
- 15) 森山健三：続欧米のハーブ（第2回）, 大阪府薬雑誌, 53(9), 66, 2002
- 16) 森山健三：続欧米のハーブ（第3回）, 大阪府薬雑誌, 53(10), 53, 2002
- 17) 森山健三：続欧米のハーブ（第4回）, 大阪府薬雑誌, 53(11), 39, 2002
- 18) 森山健三：続欧米のハーブ（第5回）, 大阪府薬雑誌, 53(12), 37, 2002
- 19) 新谷卓弘：変えられる自分とは?, 漢方研究, (8), 368~370, 2002
- 20) 田原英一：明日から使える漢方処方ガイドー循環器疾患（特に高血圧症を中心に）ー, 治療, 1(85), 39~43, 2002

◇その他

- 1) 新谷卓弘：こんな時には漢方を, 第9回東洋医学シンポジウム, 15~16, 2002
 - 2) 新谷卓弘：東洋医学に魅せられて~21世紀の医療を考える~, **Phil 漢方**, 1(1), 3~8, 2002
 - 3) 新谷卓弘：私と飯塚病院漢方診療科, 飯塚病院漢方診療科10周年記念誌, 7, 2002
 - 4) 新谷卓弘：NEW PROFESSOR 登場, **CLINIC magazine**, 29(11), 19, 2002
 - 5) 新谷卓弘：糖尿病を考えよう~東洋医学からのアプローチ~, 毎日新聞, 2002. 10
 - 6) 新谷卓弘：母音言語と子音言語, **こころ**, (25), 1~2, 2002
 - 7) 新谷卓弘：東西医学の融合について, **こころ**, (26), 1~2, 2002
 - 8) 新谷卓弘：自律神経のバランスをとること①, **こころ**, (27), 1~2, 2002
 - 9) 新谷卓弘：自律神経のバランスをとること②, **こころ**, (28), 1~2, 2002
 - 10) 新谷卓弘：変えられる自分とは?, **こころ**, (29), 1~3, 2002
 - 11) 新谷卓弘：根、鈍、運, **こころ**, (30), 1~2, 2002
 - 12) 新谷卓弘：柳の木は残った, **こころ**, (31), 2~3, 2002
 - 13) 新谷卓弘：人類と変温動物, **こころ**, (32), 1~2, 2002
 - 14) 新谷卓弘：心の揺れに付き合うこと, **こころ**, (33), 1~2, 2002
- 1) 田原英一：療養型病床群における高齢者の性的逸脱行動に桂枝加龍骨牡蠣湯が有効であった3例, 第53回日本東洋医学会学術総会, 名古屋, 2002. 5
 - 2) 久保道德, 新谷卓弘, 田原英一：麻黄・麻黄剤の抗アレルギー作用に関する研究（第一報）, 第19回和漢医薬学会大会, 千葉, 2002. 8
 - 3) 新谷卓弘, 田原英一, 森山健三, 中尾紀久世, 久保道德：問診のみによる気虚の判定について, 第19回和漢医薬学会大会, 千葉, 2002. 8
 - 4) 田原英一, 新谷卓弘, 森山健三, 中尾紀久世, 久保道德：高齢者の漢方方剤内服に関する意識調査, 第19回和漢医薬学会大会, 千葉, 2002. 8
 - 5) 新谷卓弘, 田原英一, 森山健三, 久保道德, 中尾紀久世：東洋医学的集約入院治療を実施したアトピー性皮膚炎患者の検討, 平成14年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
 - 6) 田原英一, 新谷卓弘, 森山健三, 中尾紀久世, 久保道德：大柴胡湯が奏効した高齢者の食欲不振の1例, 平成14年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
 - 7) 高屋豊, 新谷卓弘, 田原英一：大柴胡湯が有効であった **Chilaiditi** 症候群の一例, 平成14年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
 - 8) 二宮裕幸, 新沢敦, 田原英一, 新谷卓弘：繰り返す腸閉塞に対し和漢薬が有効であった一例, 平成14年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
 - 9) 新沢敦, 二宮裕幸, 地野充時, 横山浩一, 田原英一, 新谷卓弘：湯液治療単独にて寛解ならびに自己抗体の減少が得られた関節リウマチ重複症候群の2例, 平成14年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
 - 10) 新谷卓弘：茵陳蒿湯エキスが有効であったトランスアミナーゼ異常高値を示した急性肝炎の一例, 第6回和漢診療学シンポジウム, 富山, 2002. 11

◇講演・その他

- 1) 新谷卓弘：21世紀医療における漢方の活かし方, 第1回 **KAMPO EYES** シンポジウム, 大阪, 2002. 5
- 2) 新谷卓弘：こんな時には漢方を（内科の立場から）, 第9回東洋医学シンポジウム, 名古屋, 2002. 5

◇学会報告

- 3) 新谷卓弘：和漢薬診療の実際，福岡医師漢方研究会，福岡，2002. 6
- 4) 新谷卓弘：紀南漢方集中セミナー（入門編），紀南漢方集中セミナー，和歌山，2002. 6
- 5) 新谷卓弘：気血水の失調状態と漢方の適応，ゆの里講演会，橋本，2002. 9
- 6) 新谷卓弘：21世紀医療における漢方の活かし方～東西融合治療の観点から～，神戸婦人大学，神戸，2002. 9
- 7) 新谷卓弘：糖尿病を考えよう～東洋医学からのアプローチ～，毎日健康サロン・シンポジウム，大阪，2002. 9
- 8) 新谷卓弘：うつ病・不眠症の漢方治療法，KAMPO EYES シンポジウム 薬局分科会（第1回），大阪，2002. 10
- 9) 新谷卓弘：21世紀医療における漢方について，武庫川女子大学薬学部 第21回薬学講座，西宮，2002. 10
- 10) 新谷卓弘：めまい，頭痛，食思不振，便秘の漢方治療，津名郡漢方勉強会，津名，2002. 11
- 11) 新谷卓弘：漢方薬運用の実際，和歌山漢方集中セミナー（follow up 編），和歌山，2002. 11
- 12) 新谷卓弘：ストレスと漢方，働く女性のための漢方セミナー，大阪，2002. 11
- 13) 新谷卓弘：心の風邪・不眠症と漢方，三区（垂水・須磨・西区）薬剤師会研修会，神戸，2002. 12
- 14) 新谷卓弘：西洋医学と漢方医学の融合，病院勤務医のための漢方一日集中セミナー，大阪，2002. 12
- 15) 新谷卓弘，田原英一：神戸和漢薬臨床検討会（第1回），神戸和漢薬臨床検討会，神戸，2002. 9
- 16) 新谷卓弘，田原英一：神戸和漢薬臨床検討会（第2回），神戸和漢薬臨床検討会，神戸，2002. 11
- 17) 新谷卓弘：睡眠障害と漢方（第16回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 4
- 18) 新谷卓弘：未病と漢方（第17回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 6
- 19) 新谷卓弘：肩こり・腰痛と漢方（第18回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 7
- 20) 新谷卓弘：疲労と漢方（第19回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 8
- 21) 新谷卓弘：生活習慣病と漢方（第20回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 9
- 22) 新谷卓弘：寝汗・多汗と漢方（第21回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 10
- 23) 新谷卓弘：糖尿病と漢方（第22回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 11
- 24) 新谷卓弘：血液ドロドロと漢方（第23回），漢方健康相談室（NHK 神戸文化センター），神戸，2002. 12
- 25) 新谷卓弘：「漢方診療30年」について（第5回），臨床漢方実践塾，神戸，2002. 5
- 26) 新谷卓弘：「漢方診療30年」について（第6回），臨床漢方実践塾，神戸，2002. 7
- 27) 新谷卓弘：「漢方診療30年」について（第7回），臨床漢方実践塾，神戸，2002. 9
- 28) 新谷卓弘：「漢方診療30年」について（第8回），臨床漢方実践塾，神戸，2002. 11
- 29) 新谷卓弘：和漢薬診療の実際，南大阪和漢診療入門塾，2002. 6
- 30) 新谷卓弘：症例からみた気血水の失調状態のとらえ方（第2回），南大阪和漢診療入門塾，2002. 8
- 31) 新谷卓弘：症例からみた陰陽と虚実のとらえ方（第3回），南大阪和漢診療入門塾，2002. 10
- 32) 新谷卓弘：症例からみた六病位のとらえ方（第4回），南大阪和漢診療入門塾，2002. 12